

色素異常を伴う傷跡に対するレーザー治療 (赤みや黒みの残る傷跡、ケロイド、肥厚性瘢痕)

レーザー治療について

赤みや黒みの残る傷跡、ケロイド、肥厚性瘢痕などに対して以下の様々なレーザーを用いて治療を行います。

□ロングパルスNd:YAG（エヌディーヤグ）レーザー（赤みの残る傷跡に対して）

このレーザーは細かい血管をレーザーによって焼いていくことができます。それによって「きずあとの赤みの軽減」、「ケロイドの症状の改善」が可能になります。

(参考文献：Long-Pulsed 1064 nm Nd:YAG Laser Treatment for Keloids and Hypertrophic Scars. Ogawa R. Textbook on Scar Management 2020)

□QスイッチYAG（ヤグ）+ALEX（アレックス）レーザー（黒みの残る傷跡に対して）

このレーザーはメラニンの生成抑制や破壊を行うことができます。それによって「きずあとの黒みの軽減」「外傷性刺青の改善」が可能になります。

□IPL（アイピーエル）（黒みの残る傷跡に対して）

このレーザーは柔らかい光でメラニンの破壊や吸収、排出を行います。それによって「きずあとの黒みの軽減」が可能になります。

□フラクショナルレーザー（でこぼこに対して）

このレーザーは多数の細かいレーザーを皮膚に点状照射（フラクショナル技術）するものです、それによって「きずあとのでこぼこの軽減」が可能になります。

□POTENZA（ポテンツァ）（肥厚性瘢痕に対して）

このレーザーは多数の細かい針を皮膚に点状照射して熱や薬剤を同時に注入するものです、それによって「肥厚性瘢痕の軽減」が可能になります。

通院頻度や回数

皮膚の状態により異なりますが、4～8週間ごとに何度も照射が必要な施術です。期間は平均して12カ月程度かかりますが、それ以上かかる方も多くいらっしゃいます。

治療例(1年間)

★炎症の強い肥厚性瘢痕に対して

肥厚性瘢痕をできるだけ早く治療したい場合：POTENZAをお勧め

★盛り上がりや硬さのあるケロイドや肥厚性瘢痕に対して

①月1回程度の通院：ATコース10回+追加フラクショナルレーザーをおすすめ

（毎月ロングパルスNd:YAGレーザー、2ヶ月に1回は同時にフラクショナルレーザーを照射）

②2ヶ月に1回程度の通院：ATコース5回+追加フラクショナルレーザーをおすすめ

（2ヶ月に1回、ロングパルスNd:YAGレーザー+フラクショナルレーザーを照射）

★平らな赤みや黒みに対して

月1回程度の通院：ATコース10回+追加フラクショナルレーザーをおすすめ

（毎月ロングパルスNd:YAGレーザーやQスイッチ、IPLを照射）



きずときずあとのクリニック

形成外科・美容外科

次回のご予約は
LINEから簡単に
行なえます！



ロングパルスNd:YAG（エヌディーヤグ）レーザー効果の目安（一般的な目安となります）

照射回数	赤みの改善	痛み、掻痒感の改善	瘢痕の平坦化の改善	見た目の改善
1-3回	血管が縮小・消失し始める	炎症反応が軽減しかゆみや痛みが減少する事がある	コラーゲンの過剰生成が緩やかになり、瘢痕が硬い場合は柔らかさを感じる事がある	大きな見た目の変化はないが組織内部の変化が始まる
4-6回	瘢痕組織の異常血管がさらに減少し、赤みが軽減する事が期待される。赤みが強い場合、色が薄くなり始める		コラーゲンの異常分布が少しずつ改善され、瘢痕が平らになり始め、更に柔らかく感じられるようになる	
7-9回	瘢痕の赤みや盛り上がりが見えて軽減し、周囲の正常皮膚に近い状態となる	炎症反応が更に抑えられ、不快感が更に減少する	瘢痕が目立ちにくくなる。更なる平坦化には更なる照射が必要となる	瘢痕部の肌質がより滑らかに感じられるようになる
10-12回	瘢痕の赤み、盛り上がり、硬さが大幅に改善されることが期待される		完全に瘢痕が消える事はないが、目立ちにくくなるレベルに到達する	この時点で得られた効果は比較的長期間持続する事が多く、瘢痕が再び悪化する可能性は低くなる

瘢痕の状態に応じて、早い段階から他の治療（エクラプラスターテープ、ケナコルト注射やボトックス注射）や他のレーザーを併用する事で、より良い結果を得る可能性が高くなります。また、必要に応じて更なる照射もご提案いたします。

副作用及び危険性

妊娠中の方、光感受性を高める薬を飲んでいる方はこの治療を受けられません。またPOTENZAは金属アレルギーのある方は受けられません。

副作用及び危険性は、やけど、薄い発赤や軽い火傷による水ぶくれ、色素沈着、毛根のつまりによる毛のう炎があります。水ぶくれは1週間程度で治りますが、なかなか治らない場合はご連絡ください。

ボトックスについて

ボトックスは近年、ケロイド等の傷跡の改善に効果がある事が報告されています。その効果として、緊張の緩和やケロイドの原因となる線維芽細胞のコントロールなどが言われています。ボトックスをレーザー治療と併用することでケロイドの縮小や赤みの退縮などに更なる効果を見込めます。

一度の投与で効果は半年弱続きますが、必要であれば初回料金の半額で追加投与が可能です。

料金：33,000～55,000円

アートメイクについて

レーザー治療などで赤みや凹凸が改善し、白く平らな傷跡になった後に「白さ」が目立って気になる方は傷跡アートメイクが有効です。肌の色に近い色素を少しずつ入れていくことで、白い部分を周辺の肌の色になじませて目立ちにくくします。1回でも変化を感じていただける場合がありますが、より自然に仕上げるために3回の施術をおすすめしています。

※炎症や盛り上がりのある傷跡、色素沈着が強い傷跡、ケロイド体質等の場合は適応外となる事があり、必ず事前に医師の診察が必要です。

料金：36,000円/1回～



きずときずあとのクリニック

形成外科・美容外科

次回のご予約は
LINEから簡単に
行なえます！

